

目次

口 絵

中佐呂間駅通	11
最初の役場庁舎	12
中佐呂間と呼び名のころの市街の姿	16
昭和一二年四月四日頃の全景	18
昭和二八年佐呂間市街中心街	20
佐呂間大橋元は渡船場	23
木炭について	23

序・祝辞

発刊にあたりて	会長 山内春芳
「さろまむかしむかし」の発刊にあたり	佐呂間町長 堀次郎

◎はじめに

事務局 上伊沢洋

明治編

ある人の最初の種馬鈴薯	2
一寸米借りに片道四時間	2
中佐呂間駅通用の放牧場の管理の女	3
丸山時頂上まで鑑沸村	4
若佐にあつたさむらいの道場の話?	5
駅通 佐呂間の先人に関係深い分	6

大正編

佐呂間郵便局は二度設置された	10
川口郵便局と佐呂間郵便局が同時に若佐郵便局になった	10

昭和戦前

佐呂間市街付近にあつた貝塚	11
サロマ別川流送の話	12
サロマ湖物語	16
カニ拾い悲話と氷上でカキ剥き	18
ハッカ物語	20
馬車運搬業者の酒樽運んだとき	23
樽についてと桶もついでに	23
寒中の家鳴り	24
春から夏の家鳴り	24
みかんは焼いたり煮たりして食べた	24
いとう魚物語	25
夏枯れ財布を助けた亜麻	26
金輪の馬車と法螺吹き	27
大正時代盛んだつた仙台神楽	28
二発の銃声(とんだ宝物)	30
耕馬を家族の一員にしていた開拓者	31
幻となつた武士新市街と国鉄遠佐線	34
佐呂間の開拓当時から野生動物の獲り方	36
昔の川及び川魚の獲り方	37
仁倉川のエビ漁の話	41
野生獣類の獲り方	42
野生鳥類の獲り方	46
佐呂間の昆虫で食べられるもの	48

ゴッペ返した(馬櫃)	50
定期馬櫃について	50
旧桜橋の所に出た幽霊	51
下佐呂間防空監視哨	53
佐呂間市街にも現若佐にもあった 昔の葬儀	54
近代化されない頃の葬儀	59
佐呂間の中で馬車から自動車に	64
木橋が流されたときのバス運行	65
赤線トラック	65
エンジン燃料に木炭や薪	66
自動車のタイヤのなかに燕麦稗詰めて走った思い出	66
佐呂間に関係し出した自動車	67
サラマ別川堤防には(仁倉川) 網走監獄受刑者の 汗と血と涙が染み込んでいる	70
神殿の引越	71
湧網線建設に朝鮮人タコ労働	73
昭和戦後	
奉安殿解体について	76
役場職員が漬け物売りした苦労話	77
飛行機燃料のアルコール配給余話	77
救急車の運転中に前の車が外れた話	78
名曲「サラマ湖の歌」ピラオロ台の伝説の由来	79
役場構内の赤松の由来	80
若里地域の「若里」の名の由来	81
作詩家「時雨音羽」の来村	83
佐呂間町農漁村電化	84
クミカン発足当時の想い出	87

農地改革	88
戦後開拓	90
戦後開拓、浪速地区	90
浪速地区の山火事	94
音根地区への追憶(戦後開拓)	95
消滅した尚和農事組合(戦後開拓)	98
佐呂間町開拓農業協同組合	101
名馬あけほの	103
スパイだった表具師	107
各時代に連なる記事	
佐呂間の味噌・醤油の製造の変化	110
百年前と百年目の比較	112
佐呂間の村名字名の変遷	113
若佐市街の移り変わり	115
佐呂間の農産物	117
網走支庁管内一佐呂間の気温	117
佐呂間の水稲の百年間の豊凶の表	118
天候占い・豊凶占い(ラジオ・テレビのない頃の)	119
戌年に不作なしと北海道新聞	121
下武士・藤之台朝富会館完成まで	122
座談会 北方のふるさとを偲ぶ 千島樺太引き揚げ者	125
開拓の群像	
中川亀太 サロマ別原野農業開拓の草分け	138
鑑沸村(佐呂間村) 独立へ奔走	138
若佐の夜明けに生きた男	141
北の大地に夢をたくして 大野 弘	141

吉川久太郎 サロマ別原野草分	148
芹沢元蔵 タコ労働から―牧場主	150
農民運動の先頭に立つ	150
若佐地区富丘に入植の人	151
渡部長太郎(明治4年生まれ)	151
乗合馬櫓の御者だった	156
代議士 尾崎 天風	156
殿様 勝治と相川勝治	162
(免因保護事業賭けた伝説の男)	162
そろばんを緻にかえて	165
足尾銅山鉍毒罹災者移民団長 瀬下六右衛門	165
特集 栃木部落歌舞伎	168
特集 鉍毒に逐れて	169
佐藤倉吉 佐呂間湖に汽船を	171
入れて木材を清国へ売りに行った男	171
信仰による農場開拓 近藤 直作	172
船木長治郎とサロマ湖のむかし	176
佐呂間開祖の人 私説 鈴木甚五郎伝	179
今歌われないが佐呂間の何かの記録にある歌	203
特集 釣鐘のぶら下っていた火の見櫓	207
特集 49年前一人の少年兵が戦死した	210
略図の上に表したもの	
中佐呂間駅通用地	212
鑑沸村付近地図	213
移住者の辿ってきた道	214

佐呂間町の開基からの変化

略図の上に表したもの

明治大正の頃の特殊な施設	216
佐呂間市街近辺にあった工場	218
佐呂間市街中心街図	220
旧佐呂間町各部落の施設	222
旧若佐村の施設	224
佐呂間市街内の医療に關しての流れ	226
佐呂間市街昔の農家に関係深い職業	228
大正時代の佐呂間市街図	230
アイヌ地名索引図 佐呂間別川水系	232
◎七〇年越す「開墾日記」	234
◎佐呂間町の最も戸数の多かった時の地域別在住者記入地図	235
◎佐呂間町郷土研究会員名	283
◎おわりに	284

表紙題字 実盛雅夫
 絵 徳永良行